

5. d2PDFの解析結果

＜大河川流域の降雨量変化倍率の算出＞

d4PDFの解析結果と同様に、全国15地域を対象に、降雨継続時間が12時間、24時間、48時間の積算雨量を用いて現在気候に対する将来気候の年超過確率1/100の降雨量の変化倍率を算出した。降雨継続時間ごとに、各地域区分の海面水温毎の降雨量変化倍率を図-18～20に示す。

地域区分毎に比較すると、北海道北部、北海道南部は他の地域に比べ変化倍率が大きくなる傾向を示し、地域毎の海面水温モデルによる変化倍率の幅には差がみられる。

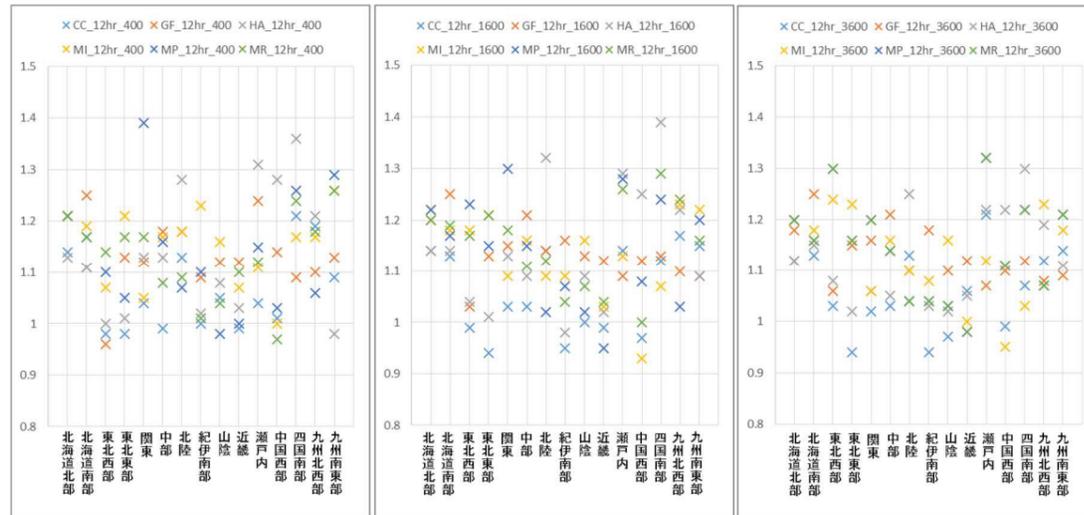


図-18 各地域区分における降雨継続時間12時間の海面水温モデル毎の降雨量変化倍率
(左から雨域面積 400km²、1600km²、3600km²)

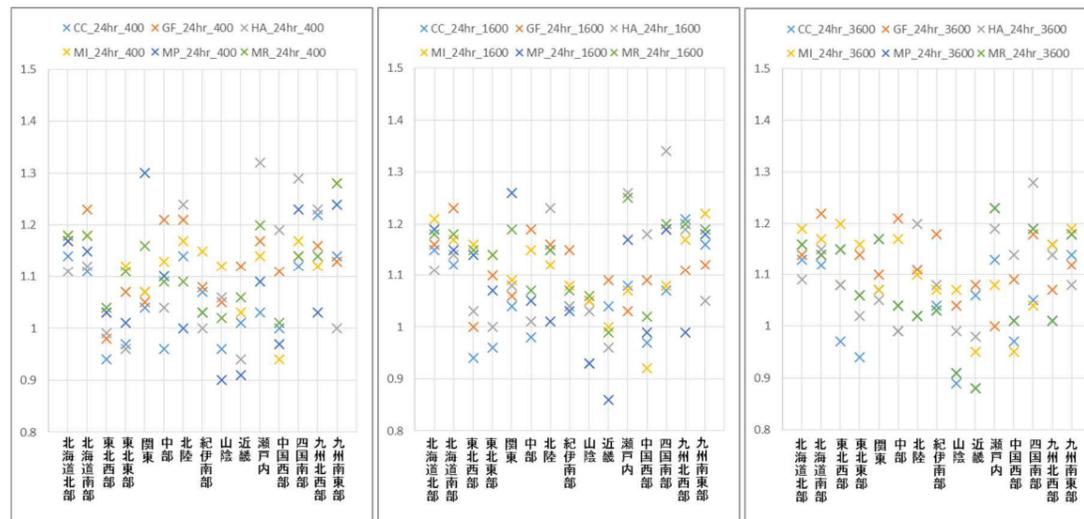


図-19 各地域区分における降雨継続時間24時間の海面水温モデル毎の降雨量変化倍率
(左から雨域面積 400km²、1600km²、3600km²)

5. d2PDFの解析結果

＜大河川流域の降雨量変化倍率の算出＞

d4PDFの解析結果と同様に、全国15地域を対象に、降雨継続時間が12時間、24時間、48時間の積算雨量を用いて現在気候に対する将来気候の年超過確率1/100の降雨量の変化倍率を算出した。降雨継続時間ごとに、各地域区分の海面水温毎の降雨量変化倍率を図-18～20に示す。

地域区分毎に比較すると、北海道北部、北海道南部は他の地域に比べ変化倍率が大きくなる傾向を示し、地域毎の海面水温モデルによる変化倍率の幅には差がみられる。

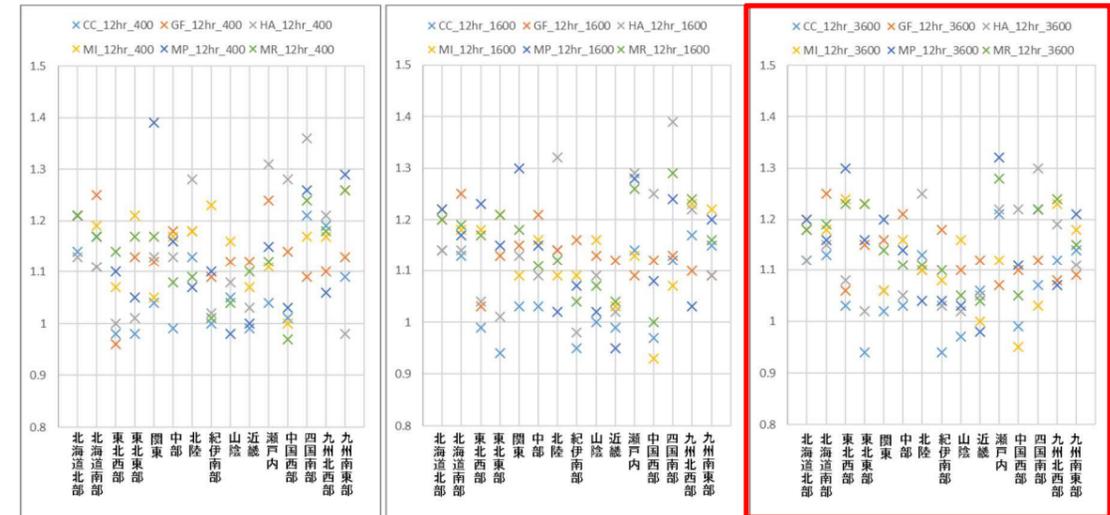


図-18 各地域区分における降雨継続時間12時間の海面水温モデル毎の降雨量変化倍率
(左から雨域面積 400km²、1600km²、3600km²)

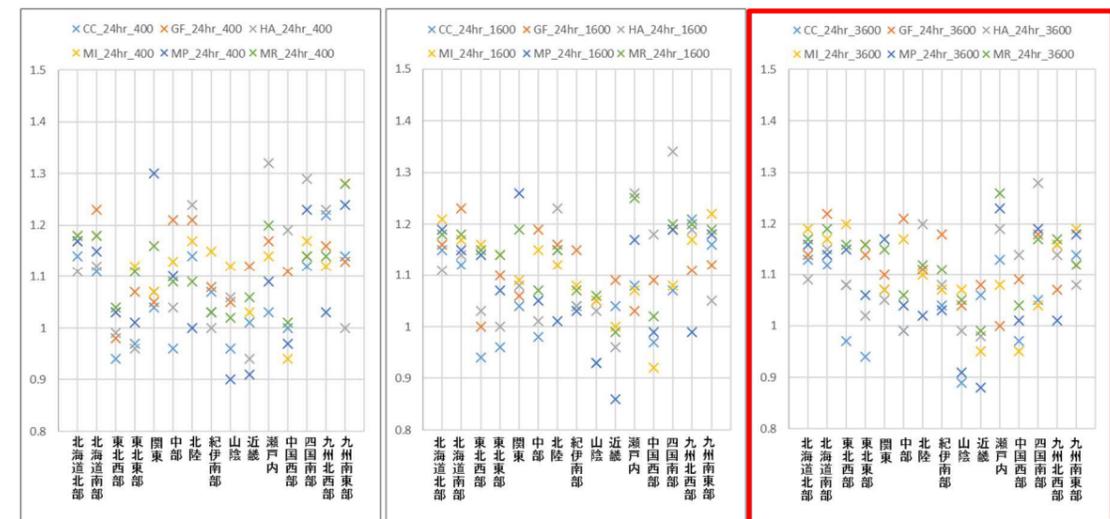


図-19 各地域区分における降雨継続時間24時間の海面水温モデル毎の降雨量変化倍率
(左から雨域面積 400km²、1600km²、3600km²)

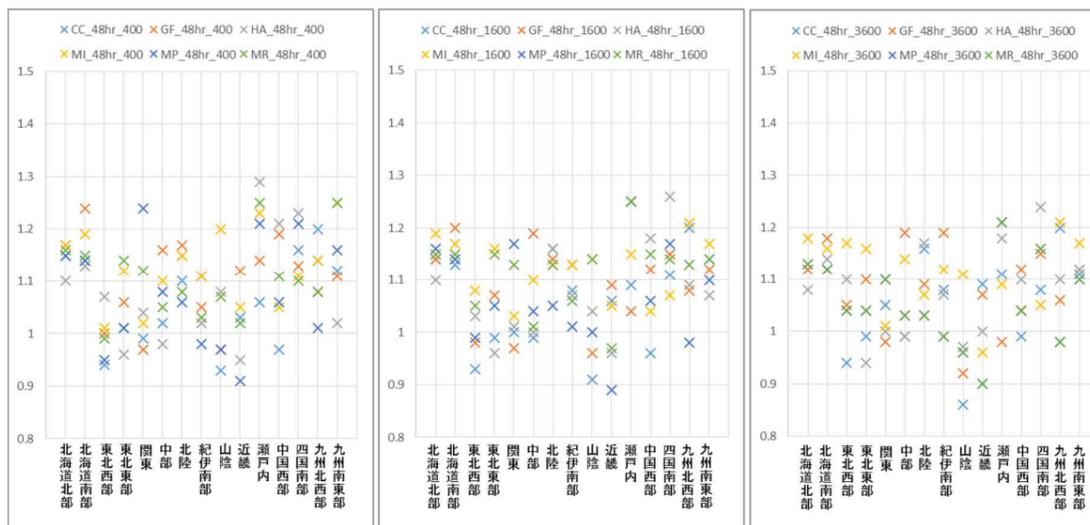


図-20 各地域区分における降雨継続時間48時間の海面水温モデル毎の降雨量変化倍率
(左から雨域面積 400km²、1600km²、3600km²)

次に、地域区分ごとに、雨域面積と降雨継続時間ごとの降雨量変化倍率を図-21 に示す。

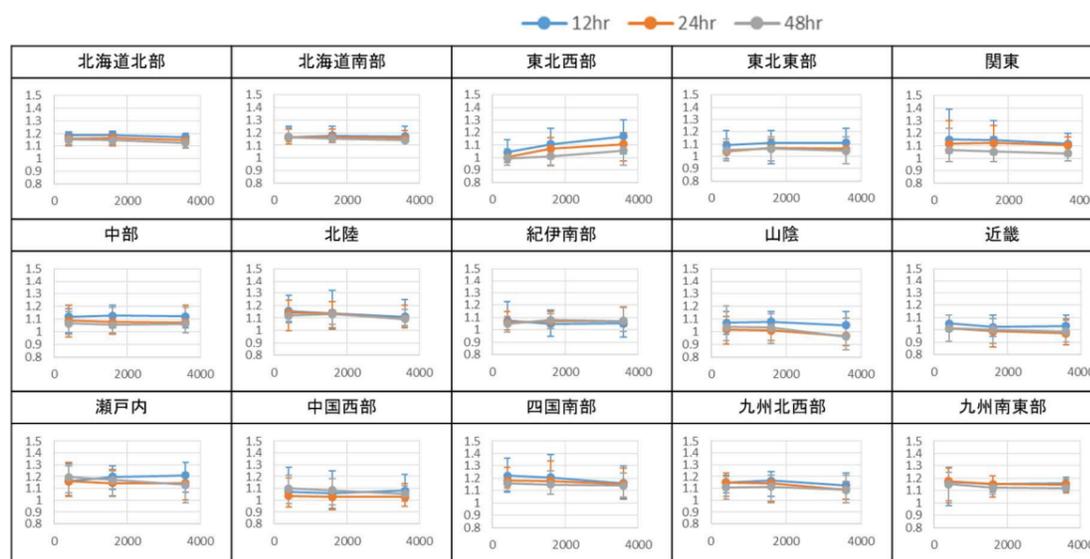


図-21 地域区分毎の雨域面積と降雨量変化倍率の関係性
(降雨継続時間12時間を青線、24時間を橙線、48時間を灰線で表している)

また、海面水温ごとの降雨量変化倍率の平均値を、雨域面積（400・1600・3600km²）・降雨継続時間（12・24・48時間）の組み合わせ毎に整理した結果を図-22 に示す。

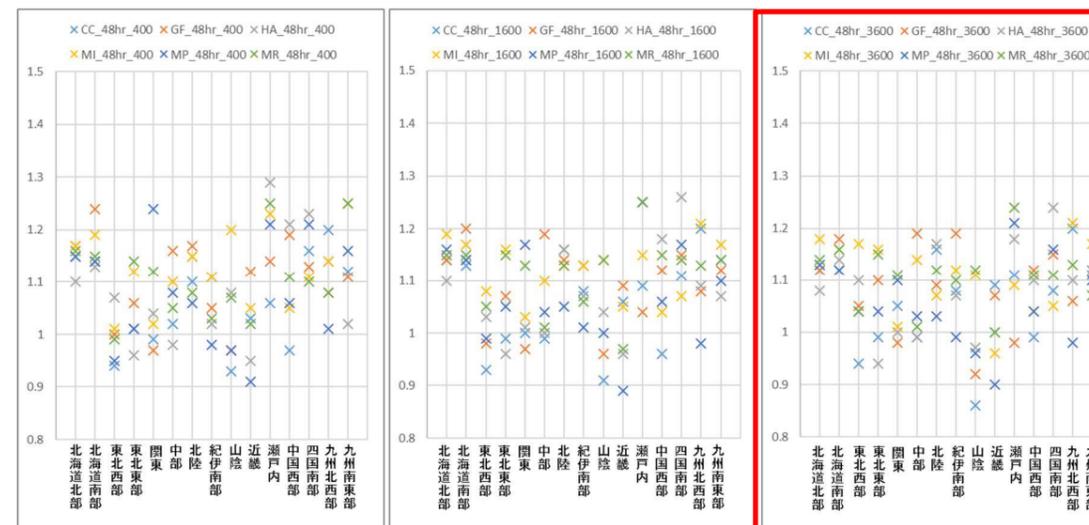


図-20 各地域区分における降雨継続時間48時間の海面水温モデル毎の降雨量変化倍率
(左から雨域面積 400km²、1600km²、3600km²)

次に、地域区分ごとに、雨域面積と降雨継続時間ごとの降雨量変化倍率を図-21 に示す。

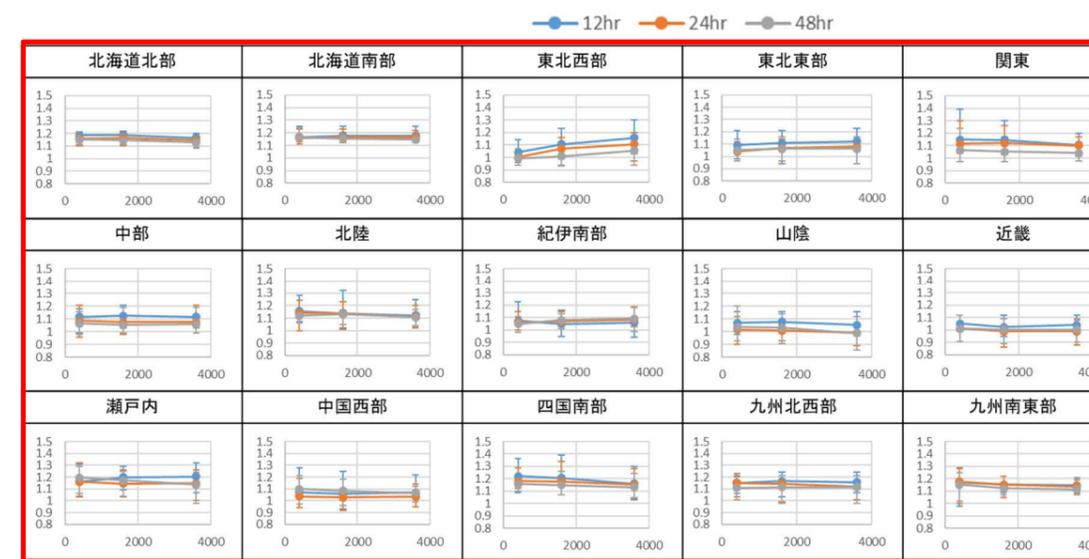


図-21 地域区分毎の雨域面積と降雨量変化倍率の関係性
(降雨継続時間12時間を青線、24時間を橙線、48時間を灰線で表している)

また、海面水温ごとの降雨量変化倍率の平均値を、雨域面積（400・1600・3600km²）・降雨継続時間（12・24・48時間）の組み合わせ毎に整理した結果を図-22 に示す。

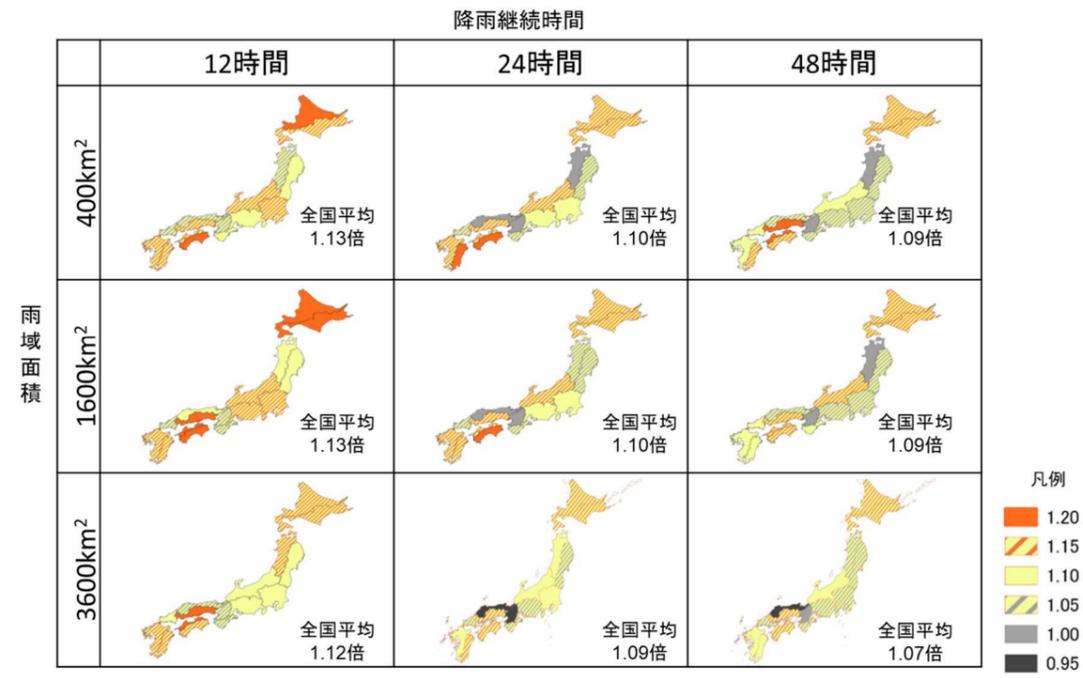


図-22 各地域区分の海面水温 6 パターンによる降雨量変化倍率の平均値

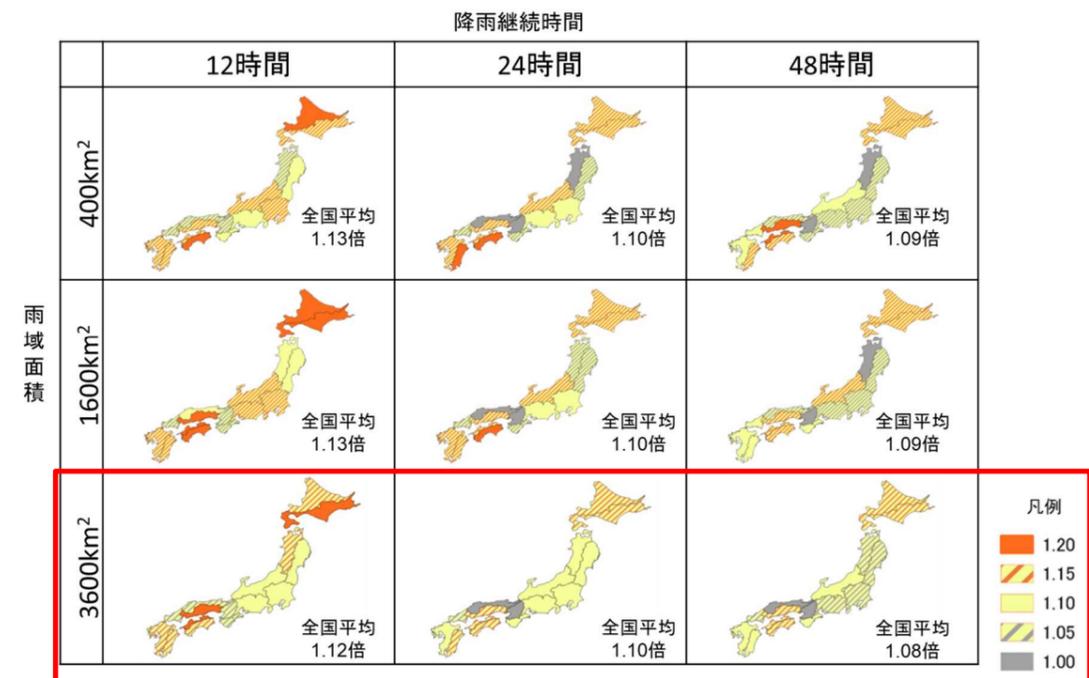


図-22 各地域区分の海面水温 6 パターンによる降雨量変化倍率の平均値